

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)6月20日
所 属 名:高島農産普及課
番 号:H25008
発 信 者 名:永見、中川

カラス防除のために無人撮影装置を設置、併せて付近のドローン撮影を実施

高島市マキノ町のほ場でカラスによるすいか、まくわの被害防止対策に先立ち、6月13日にカラスの行動調査を行うために無人撮影装置の設置とドローンによる調査ほ場周辺の撮影を実施しました。

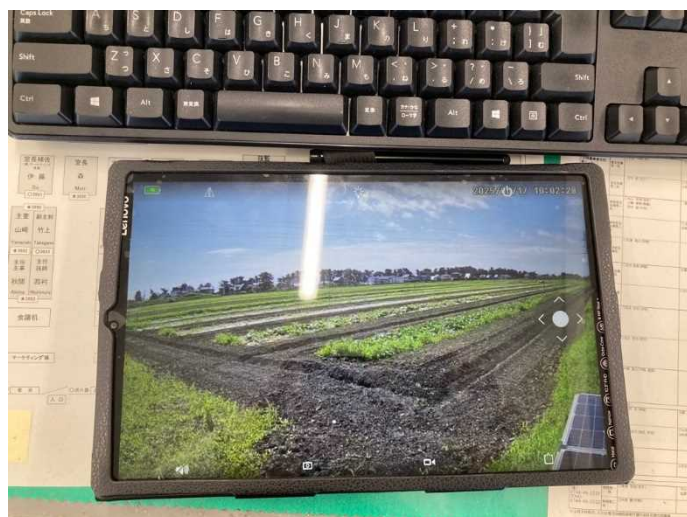
高島市マキノ町・今津町ではまくわの栽培が盛んにおこなわれていますが、ハクビシンによる被害が発生していることから今年度「楽落くん」の設置を検討していました。設置に際して生産者に聞き取りを行ったところ、ハクビシンもさることながらカラスの被害が多いとの話をお聞きしました。

そこで、革新支援部と相談のうえ、「楽落くん」の設置とともにカラス対策として音響忌避装置の試験を行うことにしました。音響による忌避効果は「慣れ」が生じやすいため、あらかじめカラスの行動を把握する必要があります。音響忌避装置「衛(まもり)」の発売元であるオート工芸社と連携して無人撮影装置を設置し、周辺のドローン撮影を実施しました。

無人撮影装置は通信機能を有しているため、リアルタイムにほ場の様子をタブレットで確認でき、また、常に動画を記録し続けているので、過去の画像を確認することもできます。

ドローンではほ場周辺の360度撮影を実施し、周辺のカラスのねぐらになりそうな場所を撮影しました。

今後、ハクビシン対策の「楽落くん」の設置とともに「衛」の設置を行い、すいか、まくわの被害軽減の効果を確認し、現地指導につなげます。



タブレットでリアルタイムに確認できる



ドローンでの撮影の様子